



題字：鳩山威一郎
機関紙「友愛」
発行所
公益財団法人 友愛
〒112-0002
東京都文京区小石川
1-10-13 小石川文ビル2階
TEL:03-5684-3188
FAX:03-5684-3186
E-Mail:you-i@yuai-love.com
http://yuai-love.com
編集人：羽中田元美
隔月1回 10日発行
会費(4月~3月)
個人/3,000円以上
法人/10,000円以上

第32回通常理事会開催

次年度事業に新たな展開を検討

小論文コンテスト―韓国全州大学校で開催
OEJABからの来日を友愛ユニオンがアテンドなど

第32回通常理事会が開催され、次年度(2024年度)に向けての新たな事業展開について話し合いが行われた。小論文コンテストの韓国国内での開催、OEJABから派遣される12名の派遣員に関して、日本でのアテンドを友愛ユニオンメンバーから募り、依頼するなど、これまでにない取り組みが提案され、熱心な協議が続いた。次回理事会において、今回の協議内容を盛り込み、事業計画・事業予算を改めて協議することが確認された。

2月15日(木)午後6時から友愛サロンにおいて第32回通常理事会が開催され、次年度についての新たな取り組みなどが協議された。始めに、鳩山由紀夫理事長が、次の様に挨拶した。
今年度は年明け早々に大きな地震、そして日航機の事故と、大変な出来事がありました。皆様のおかげで、皆様のご協力に感謝いたします。
また、記念式典当日もさうでしたが、若い友愛ユニオンのメンバーが、着実に育つて力を付けてくれています。これは友愛の未来を考えると、非常に喜ばしい、ありがたいことだと思っています。各事業担当の理事たちも、一生懸命活動してくれています。友愛の今後には、希望の光がさしています。今日も、次年度の



鳩山由紀夫理事長
次年度に向けて新たな展開をと挨拶

現在も、寒いなか非難を余儀なくされている能登の方々に、心からお見舞いを申し上げます。そして本日も寒い中お集まりいただき、ありがとうございます。
おかげさまで昨年、無事創立70周年記念式典を開催し、記念誌にあたるDVDもできました。皆様のご協力に感謝いたします。
また、記念式典当日もさうでしたが、若い友愛ユニオンのメンバーが、着実に育つて力を付けてくれています。これは友愛の未来を考えると、非常に喜ばしい、ありがたいことだと思っています。各事業担当の理事たちも、一生懸命活動してくれています。友愛の今後には、希望の光がさしています。今日も、次年度の

ミヤンマー農業指導者育成事業
井田安信理事

東京農工大・藤井先生の教え子プーさんを招聘し、(藤井先生の研究所で招聘)堆肥の作り方に関して、学術的なエビデンスを得る。
来日の時期、方法について、確認中(観光ビザでの入国についてなど) 現在2

事業についても議論いただきましたが、新たな展開も紹介されるようです。皆様の変わらぬご支持をお願い申し上げます。
羽中田事務局長による庶務・経理関連の報告に続いて、各事業の担当理事が、現状と今後についてそれぞれ発表しました。

報告事項
羽中田事務局長による庶務・経理関連の報告に続いて、各事業の担当理事が、現状と今後についてそれぞれ発表しました。

2024年6月上旬を予定している。
在日のミヤンマーの方々とは、ミヤットーさんを中心に連絡を取り効果的な方向性を探っていく。併せて現地に住んでいる、過去に研修に来日した研修生とも協力体制をつくる。

OEJABへの派遣・受入事業について
西川伸起理事
派遣事業関連
2023年度OEJAB派遣員/3月3日(日)
3月12日(火)の予定で実施。
2024年OEJAB派遣員選考方法の変更について
2024年OEJAB派遣員選考については、現在実施している「1分動画」

友愛小論文コンテスト
攪上哲夫理事

提出を止め、各人への面接を実施する。面接は、選考委員会による書類審査を経た12名程度に絞り実施する。
受入事業関連
2024年度12名(内2名はエヤップスタッフ)の学生を受け入れる。
(日程) 8月20日(火)
9月2日(月)で検討中。
広島市/松井市長のご協力を得て、表敬訪問面談日程は決定していることから、この日程をベースに他の行動予定を振り充てる。
この際のアテンドを「友愛ユニオンメンバー」から募り、依頼する予定である。

新たな担当理事を選任
新たに普及啓発活動事業/機関紙「友愛」発行・友愛ユニオン活動・HPなどを担当する理事として後藤大智理事が推薦され、全員がこれに賛意を示し、新たな担当理事が誕生した。併せて、後藤大智理事には、コンプライアンス及びガバナンス整備を含む業務も担当して欲しいとの声があり、全会一致で承認された。

報告事項・協議事項を終え、理事会は午後8時30分に閉会した。
出席者
鳩山由紀夫理事長
谷藤悦史理事
中島政希理事
芳賀大輔理事
井田安信理事
西川伸起理事
攪上哲夫理事
南桢幸信理事
後藤大智理事
金沢俊弘理事
海方 亨 監事



遅い時間まで熱のこもった議論が続いた。一郎先生の「友愛」が掲げられている友愛サロン

写真/一部紹介(右から)
攪上哲夫理事 井田安信理事
南桢幸信理事 後藤大智理事

写真/一部紹介(右から)
海方亨監事 金沢俊弘監事
芳賀大輔理事

友愛時評
ロシア・ウクライナ戦争は三年目に入り、イスラエル・ガザ戦争も勃発から半年が過ぎようとしている。どちらの戦争にも終息の見通しは立たず、現在を「第三次世界大戦前夜」と捉える見解も出始めている。ロシアとイスラエルという核保有国が戦争の当事者である以上、全面核戦争へのエスカレーションも現実の脅威である。▼とはいえず、そうした恐怖は日本にいと実感できない。核による平和の危うさを授業で説いていても、どこか現実味が無い。東アジアは台湾海峡と朝鮮半島という二つの「火薬庫」を抱えるが、中国は台湾侵攻よりも国内経済の立て直しに追われているようであり、北朝鮮も示威的なミサイル発射を繰り返す程度にとどまる。国内に至っては、最大の政治問題は自民党派閥の裏金問題であり、政治倫理審査会での呆れた答弁ぶりには当代の政治家の呑気さすら感じる。▼ふと「平和ボケ」という言葉が気になった。仮に防衛費が国会の焦点となっていれば、タカ派の論客は「平和ボケ」というレッテルで激しく批判をしていたことだろう。もともと、若者に愛国心による犠牲を説いたり、技術的に難のある防衛計画を万能なものや喧伝したりする論客に対しては「平和ボケのタカ派」という切り返しも為されるので、わが国では皆が「平和ボケ」かもしれない。▼この言葉が最初にメディアに登場したのは一九八〇年代らしい。それから既に五〇年近く、平和を享受しボケるほど幸せな我々には、緊張する世界の中で果たすべき独特の役割があるように思う。(ヒゲ)

友愛創立70周年記念DVD配送開始

動画で綴る70年「未来へつなぐ」

70周年記念楽曲「希望の道」(演奏)

機関紙『友愛』創刊号から収録と資料も充実

友愛創立70周年を記念して作成されたDVDが、この度発送の準備が整い、皆さまにお届けできるようにになりました。

歴史を大きな視点から捉え、過去から現在に至る軌跡が、観て楽しく解り易い動画に纏められています。

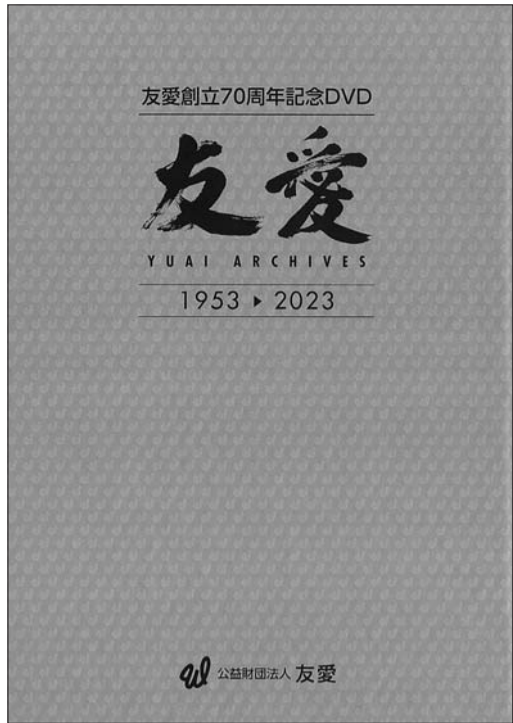
第三部は、創立70周年記念楽曲『希望の道』が作曲家渡邊康雄さんご自身の演奏で収められています。荘厳な中にも友愛理念の広がりをお知らせの希望に溢れた素晴らしい作品である。

これらの全てはパソコンで観ることが出来る仕様になっています。

DVDの二枚目(写真右下/白イラベル)は、第二部と、第三部がDVDプレイヤーで観ることが出来る「DVDプレイヤー専用」仕様となっております。パソコンでもDVDプレイヤーでもご覧頂くことが出来る組み合わせになっています。

表紙(写真左)は、友愛

のロゴを配した銀色の地紋に、鳩山由紀夫理事長の揮毫が美しい豪華な仕上がりである。中身の見えるケースもついている。



友愛 友愛創立70周年記念DVD PC専用

1 友愛データベース
年表・活動記録・機関紙「友愛」・関連資料

年表 創立1953年～2023年	写真で綴る活動記録 2000年～2023年 18～40ページ	機関紙「友愛」 創刊号～585号 1953年5月～2023年11月	資料 40周年記念楽譜の原稿も収録 DVDプレイヤー専用ディスク
----------------------------	---	--	---

2 映像で綴る友愛70年の軌跡「未来につなぐ」

3 創立70周年記念楽曲「希望の道」 作曲・演奏 渡邊康雄

発行：公益財団法人 友愛
編集・制作：① 友愛編集部・株式会社出版文化社
② 上垣善寛・鈴木真太郎
③ 作曲・演奏/渡邊康雄
監修：① 川手正一郎 ② 戸澤英典
発行年月日：2024年3月31日

特別付録 DVDプレイヤー専用Disk

② 映像で綴る友愛70年の軌跡「未来につなぐ」
③ 創立70周年記念楽曲「希望の道」 作曲・演奏 渡邊康雄



お申込方法

電話・ファックス・メール・郵便など何でも結構です。
電話：03-5684-3188
fax：03-5684-3186
メール：you-i@yuai-love.com

住所：112-0014 文京区小石川1-10-13

友愛事務局までお申込ください。
会員：送料/1,000円
会員以外：送料/3,000円
お申込受付後、ご住所等確認し、送金方法をお知らせします。

2023年度OEJAB派遣員

元気に出発・期待を胸に6名の体験旅行が始まる

3月3日(日)羽田から2023年度のOEJAB派遣員6名が、ウイーンに向けて出発した。

一行は、事前に会議室に集合し、出発前最後の研修を受けた。

事業担当の西川伸起理事からは、ともかく楽しんでください。この体験が皆さんを大きくします。とエールが贈られた。

井田安信理事、攪上哲夫理事からも応援の言葉が贈られ、三人の理事に見送られての出発となった。

今回の派遣員には、C T B T O訪問、日本大使館訪問、難民施設訪問など充実のスケジュールが予定されている。帰国は、3月12日

(火)現地での体験を写真と文章で綴る「報告書」が4月には提出される。

機関紙『友愛』5月号には、それぞれの見たものと感じたことが綴られた、十人十色の報告書を掲載しますのでお楽しみに！

優しい言葉でエールを贈る西川伸起理事(写真右奥)全員ワクワクが止まらない様子で聞き入る



優良団体の評価を受ける 鳩山理事長他4名の理事立ち会いのもと実施

2024年2月28日(水)午前10時より午後5時まで、内閣府公益認定等委員会による立ち入り検査が実施された。これは、公益財団(社団)法人に対して定期的に執行されるもので、本財団は公益認定以後初めての検査となる。

本来、三年毎に実施される立ち入り検査だが、本財団が対象の年はコロナ禍にあり延期されていた。次年度は、その影響もあり日程調整が困難で実施できず、本年度初の実施となった。

内閣府公益認定等委員会からは、上席審査監督調査

2023年度派遣員の皆さん左から/大野誠尚さん(東北大学大学院工学研究科2年)三浦愛佳さん(九州大学共創学部3年)矢野由佳さん(北海道大学農学部4年)巴上小奈咲さん(中央大学法学部2年)出倉正啓さん(東京大学理学部4年)金子紗也佳さん(千葉大学医学部6年)

官 本田冠賢調査官(大臣官房公益法人行政担当室)及び高野孝治政策企画調査官のお二人が来所された。

友愛側の出席は、鳩山由紀夫理事長、芳賀大輔理事、攪上哲夫理事、西川伸起理事、井田安信理事、中田元美事務局長。6名で対応にあたった。

10時から12時まで、法人概要及び事業概要について、令和4年度の事業報告書に基づき、各事業の主旨、詳細に関して質問があり、これに答えた。

13時から16時まで、調査官二人による書類の確認経

理関連書類(総勘定元帳・証券各種・現金出納帳・預金通帳および残高証明書など)・庶務関連書類(理事会・評議委員会の議事録・就任承諾書・身上書・確認書など)が行われた。

その後、総評ということ

で、関係者一堂が集合し、評価を伺った。結果、「優良団体と認めます。したがって結果通知に該当する書面は発出しません。」との発表があった。法令遵守の上、きちんとまとめられており問題はありませぬ。資料も保存されておりとても良いとの評価であった。

読者のページ——機関紙『友愛』に寄せられた投稿のご紹介——

日中文化交流の懸け橋

LXY国際交流研究所代表 劉幸宇

一衣帯水の地にある日中両国間では、昔から多数の有識者が文化交流の架け橋となってきた。著名な書画家吉澤大淳氏もその一人である。

20年にわたり30数回の訪中中で実施された植林活動、中国で表彰式が行われた「友愛国際写真コンクール」そして、友愛の理念を学ぶ学生から寄せられる「私にとって友愛とは」の小論文コンテストと、中国との友好を深めるべく活動をしておられる公益財団法人

友愛も大きな成果を収め、一会員として嬉しい限りである。この度、機関紙『友愛』の紙面をお借りして、民間で大きな成果を上げておられる吉澤大淳氏の活動をお伝えしたい。

吉澤氏は幼い時から書画が好きであった。中年以降、氏は老子、荘子と陶淵明に憧れ、山水画の創作を始めた。東京都立大学講師、下諏訪町教育委員会委員長などを歴任。今は中国廈門蘇頌科学技術教育基金会名誉顧問、日展会員、日本ペンクラブ

このプロジェクトの完成をきっかけとして下諏訪町をきっかけとして下諏訪町と中国の歴史の要とも言える開封市との友好交流の協定書が調印されたのだ。国を超え、2000キロ以上も離れた古い都市が、友好の握手を交わしたのも、吉澤氏の熱意と情熱の成果といえるだろう。

氏は7回開封市を訪れ、2001年には、中国開封2001菊花花会中日書法作品展に団長として参加した。2016年秋、氏が廈門政府の招きに応じて、蘇頌の旧居と水運儀象台を視察した。2017年春、中国の水運儀象台視察団一行が下諏訪町を訪れ、吉澤氏らと交流した。2018年秋には吉澤氏が蘇州で水運儀象台復元工場を視察した。2019年春、中国蘇頌學術研究会一行15人が下諏訪町を訪れた。

吉澤氏が2017年に発足させた「日本蘇頌研究会」は会員83名がおり、蘇頌の後裔、学者らが顧問と会員になっている。また、蘇頌生誕1000年の2021年に、氏が日本蘇頌研究会を代表して廈門に温かい祝電を送った。

吉澤氏は私(筆者)に「中国は日本文化の故郷であり、書道の交流と水運儀象台の復元及び日本蘇頌研究会の発足をきっかけに、中国との交流をもっと盛んにしたい」と抱負を話した。「老驥伏枥、志在千里」(優れた馬は老いても一日千里を奔ることを志す)という「三国志」曹操の言葉通り、吉澤氏は80歳になる今も活力に溢れ、日中交流及び様々な社会活動に従事し続けている。

このプロジェクトの完成をきっかけとして下諏訪町をきっかけとして下諏訪町と中国の歴史の要とも言える開封市との友好交流の協定書が調印されたのだ。国を超え、2000キロ以上も離れた古い都市が、友好の握手を交わしたのも、吉澤氏の熱意と情熱の成果といえるだろう。

吉澤氏は私(筆者)に「中国は日本文化の故郷であり、書道の交流と水運儀象台の復元及び日本蘇頌研究会の発足をきっかけに、中国との交流をもっと盛んにしたい」と抱負を話した。「老驥伏枥、志在千里」(優れた馬は老いても一日千里を奔ることを志す)という「三国志」曹操の言葉通り、吉澤氏は80歳になる今も活力に溢れ、日中交流及び様々な社会活動に従事し続けている。

日本と中国は源流の同じくする文化に支えられているといっても過言ではない。吉澤氏の活動を応援しつつ、私たちも日中友好の活動を続けていきたいものである。

私は医学を学んでいます。私は同時にAIについても勉強しており、エンジニアとして医療AIの共同研究にも参加しています。今回のカンボジアでの経験から「どのような世界を実現したいのか」というかねてからの命題に加え、「どのような医療AIを開発・活用するべきなのか」を考え始めました。正にGrabは、きっかけとなりました。Grabは、きっかけとなりました。Grabは、きっかけとなりました。

現地の方に話を聞くと、ドライバーには今までできなかった銀行口座開設や保険加入などの社会的支援サービスが提供されているようになったそうです。これもGrabの与えた、状況変化の大きな効果です。

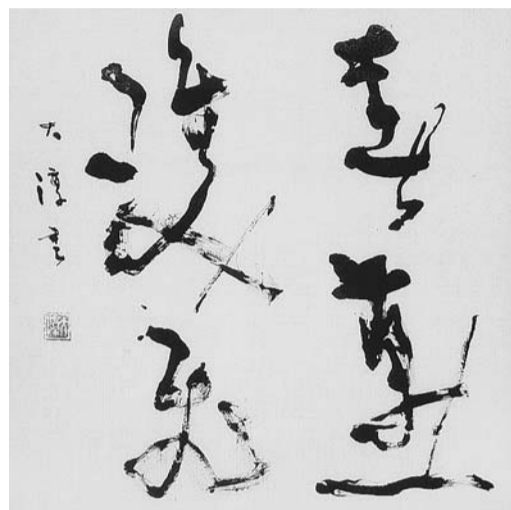
このように、一つのアプリケーションが配車サービスシステムを通じて、収入だけでなく、人々の自立を支援し、生活の質を向上させることができました。

私は医学を学んでいます。私は同時にAIについても勉強しており、エンジニアとして医療AIの共同研究にも参加しています。今回のカンボジアでの経験から「どのような世界を実現したいのか」というかねてからの命題に加え、「どのような医療AIを開発・活用するべきなのか」を考え始めました。正にGrabは、きっかけとなりました。Grabは、きっかけとなりました。

道は遠く、長く険しいものかも知れませんが、カンボジアで見た人々の変化は、前向きで希望にあふれていました。私も希望をもって、自らの導き出した命題に向かって行きたいと思っています。



書道家 吉澤大淳先生
—撮影: 遠藤雅也氏—



吉澤大淳先生作品紹介

写真上 「祐賢輔徳」
写真右上 「天恵」
写真右下 「春燕双飛」

*吉澤先生のご厚意により特別に掲載いたしました



復刻された水運儀象台



初めてトゥクトゥク乗ってみました。日本のODAで建設されたメコン川に架かっている橋の上から

日本とは異なり、カンボジアでは自動車よりもバイクの利用数が格段に多いようです。狭い路地でも大通りでも、バイクは老若男女の足となっています



カンボジア体験記

福井大学 医学部医学科6年 河野 亜希

2023年末インターン実習のため、カンボジアの日系病院に滞在していました。滞在中に感じたことを、機関紙『友愛』に投稿させていただきました。

5年前にカンボジアと同じ東南アジアのフィリピンへ語学留学をしたことがあります。その時と比べて、人々の生活状況の変化に驚きました。その変化を起したのはGrabというスマホのアプリケーションです。

道は遠く、長く険しいものかも知れませんが、カンボジアで見た人々の変化は、前向きで希望にあふれていました。私も希望をもって、自らの導き出した命題に向かって行きたいと思っています。

Grabは配車アプリであり、現地のドライバーと利用者のマッチングを行います。Grabが普及する前に行っていたフィリピンの語学学校では、「ドライバーとのコミュニケーションが難しく、支払いでトラブルが発生することが多いため、できるだけトゥクトゥク(三輪自動車の簡易タクシー)の利用を避け、メーターの利用の方がよい」と言われていました。

私は医学を学んでいます。私は同時にAIについても勉強しており、エンジニアとして医療AIの共同研究にも参加しています。今回のカンボジアでの経験から「どのような世界を実現したいのか」というかねてからの命題に加え、「どのような医療AIを開発・活用するべきなのか」を考え始めました。正にGrabは、きっかけとなりました。Grabは、きっかけとなりました。

道は遠く、長く険しいものかも知れませんが、カンボジアで見た人々の変化は、前向きで希望にあふれていました。私も希望をもって、自らの導き出した命題に向かって行きたいと思っています。

未だ見ぬ世界・新しい体験に挑戦しよう!



対象年齢
18歳~30歳 等

2024年度 内閣府青年国際交流事業 日本代表青年募集

内閣府では次世代グローバルリーダーの育成を目的に **5** つの国際交流事業を実施しています

船事業 東南アジア 青年の船 世界 青年の船		航空機事業 国際社会 青年育成 日中青年 親善交流 日韓青年 親善交流		

募集期間 **2/1 (木)** ▶ **4/19 (金)**

申込・詳細はHPから▼

🔍 **内閣府 青年国際交流**



2024年度 内閣府青年国際交流事業
様々な体験が、待ち受けています 奮って応募しましょう

内閣府が実施する青年国際交流事業の内容が発表された。本財団でもこの事業の推進に協力し、機関紙『友愛』紙上で、募集案内を掲載することとした。それぞれ内容の異なる5つの事業が企画されている。下記のQRコードからアクセスすると、各事業の詳細、日程などが詳しく記されている。この機会に是非、貴重な体験を目指して新たな世界に飛び出してみませんか。友愛の理念を世界に届ける絶好の機会です。

詳しくはこちらにアクセスしてご確認ください



資料室公開開始
 友愛の歴史を語る様々な資料が充実
 鳩山一郎先生の著書初版本も収蔵

友愛創立70周年を記念して、資料室が設置されこの度公開の運びとなった。資料室は、公益財団法人友愛事務局のあるビル4階に解説されている。70年に及ぶ友愛の歴史がぎっしり詰まった、迫力のある資料内容である。機関紙『友愛』創刊号から現在に至るまでの全ての実物が見られる他、OEJ A Bとの交流の歴史、約20

編集後記
 ◆通勤で通る池袋駅地下に、小さな本屋さんがありました。過去形なのは、先日、パン屋さんが変わってしまったからです。本屋がパン屋って、一文字違いで大違い! ビックリしました。文庫本や、最近話題の新刊書など、気軽に寄れる本屋さんでした。町中でもどんだん本屋さんが減っています。寂しい限りです。スマホやパッドなど、を使って本を読むことができる時代だからでしょうか。でも、敢えて言うなら「中身を知る」とは、「本を読む」と事と同じでしょうか。装丁・紙質・レイアウト、本の楽しみは中身だけではありません。古いと言われてもこればかりは。(も)



年及んだ植林活動の詳細が豊富な写真と共に納められている。その他、クレーンホーフカレルギー伯の著書初版本など、貴重な書物に触れることができる。ご利用ご希望の方は、事務局までご連絡ください。